

参議院・予算委員会で「ワンヘルスについて」議論がかわされました!!

令和4年5月30日（月）に開催された「参議院予算委員会」において、自見はなこ参議院議員（比例区・北九州市出身）が岸田文雄総理大臣に対して「ワンヘルスについて」質問されました。



【質問】 ワンヘルス（人獣共通感染症対策）について

岸田総理は、今年1月の施政方針演説の中で「息の長い感染症対応体制の強化策として、次の感染症危機に備えて、本年6月を目処に、危機に迅速・的確に対応するための司令塔機能の強化や、感染症法の在り方、保健医療体制の確保など、中長期的観点から必要な対応を取りまとめます。」と発言されました。

その中で、是非とも重要政策として取り上げていただきたいのが「ワンヘルス・人獣共通感染症対策」であります。

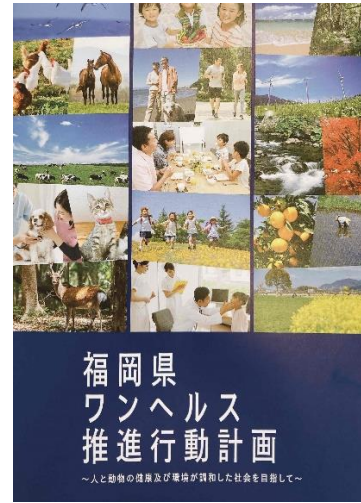
福岡県では、「ワンヘルス宣言の地」として、全国に先駆けてワンヘルスの取り組みを行ってまいりました。

具体的には、2020年12月、福岡県議会では全国で初めて議員提案による「**福岡県ワンヘルス推進基本条例**」が可決・成立し、2021年1月に施行しています。

また、2022年3月には、この条例に基づきます「**福岡県ワンヘルス推進行動計画**」を策定し、ワンヘルスセンターなどの必要性を謳っているところであります。

国家の安全保障上も、ワンヘルスや感染症対策は重要な意味があると思います。

長崎大学BSL-4への更なる財政支出も念頭に置きつつ、国の司令機能を発揮した感染症対策の在り方を打ち出すときに、**国内研究基盤と同時に国際的な協力が必要となる人獣共通感染症、ワンヘルスを重点項目として位置づけるべきではないか**と考えますが、いかがでしょうか。



【総理答弁】

感染症対策については、人と動物は、相互に密接な関係にあることから、ワンヘルスの考え方に基づいて、総合的に対応していくこと、これが重要であると認識しています。

政府としては、これまでも薬剤耐性対策や鳥インフルエンザ等の人獣共通感染症対策に取り組んできました。

また、指摘のように政府としては、次の感染症危機への備えとして、**危機に迅速的確に対応するための司令塔機能の強化や感染症法の在り方、保健医療体制の確保など、中長期的観点からの必要な対応を6月を目処に取りまとめることを目指していますが**、今の委員からの指摘も踏まえ、取りまとめに向けて検討し、感染症対策を強化していく中で、**人獣共通感染症対策についても引き続き、重要な課題として取り組み、進めていきたい**と考えます。

2022年5月31日

福岡ワンヘルス協議会・事務局